

令和6年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録

1. 開催日時 令和7年3月14日（金） 午後2時05分開会
2. 開催場所 印西市立印旛歴史民俗資料館 学習室
3. 出席者 松原一弘委員、内藤幸一委員、矢嶋毅之委員、山田俊輔委員
4. 欠席者 早川博史委員、
5. 事務局 飯島正義生涯学習課長、遠藤正館長、倉田龍太郎学芸員
6. 傍聴者 なし
7. 次第 (1) 令和6年度歴史民俗資料館事業報告について
(2) 令和7年度歴史民俗資料館事業計画（案）について

進行

只今より、令和6年度第1回印旛歴史民俗資料館運営委員会を開会させていただきます。
私、運営会議の進行を務めさせていただきます、遠藤でございます。よろしくお願いします。
事務局の出席者は飯島生涯学習課長と当館・倉田学芸員、私、遠藤の3名でございます。
はじめに、本日の会議に当たりましては、記録のため、録音をさせていただきますことを
ご了承お願いいたします。

次に、配布資料の確認をさせていただきます(配布資料名を読み上げ確認)。
続きまして、飯島生涯学習課長からご挨拶を申し上げます。

※生涯学習課長 あいさつ

進行

ありがとうございました。
次には内藤会長からご挨拶をいただきます。

※会長あいさつ

本日の出席委員は5名中5名で、過半数に達しておりますので会議は成立となります。

進行

それでは、議事に入らせていただきますが、議長は設置運営規則の規定により、内藤会長に
議長をお願いします。

また、本会議は、「印西市市民参加条例」第11条第4項及び「同施行規則」第11条の規定に
基づき、公開となりますが、傍聴者はございませんのでこのまま進行をさせていただきます。

議長

はい。それでは配布されたお手元の資料に沿って議事を進行していきたいと思います。最初に
会議録署名委員の指名ですが、矢嶋委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

議長

それじゃ議題1から進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

事務局

※事務局より資料に沿って説明。

議長

ありがとうございました。今説明がありましたけれども、今までの説明の中で何か聞いてみたい、
あるいはこうした方がいいんじゃないかというようなご意見があったらお願いしたいのですが。
いかがでしょう。

委員

運営の入館者数のところですけども、前年度比としてはどれぐらいになるのですか。例年
700人ぐらいということですか。

事務局

そうですね。令和2月末現在でいくと若干の上昇にはなっているのですが、ほとんど誤差
の範囲です。

委員

やっぱりちょっと入館者数が少ないというか、稼働日で見ると1日3人ぐらい。もちろん
平日なんかほとんど他の県内の博物館も使っていないですけども、土日なんかはかなりイベント

とかを積極的にやって利用率を高めるっていうことはやられてる。

今どこの博物館も人が少ないという中で、個々の学芸員が頑張っているんですけども、例えば本庁のこういう関係でない人から見ると、この稼働数、人数で施設を維持していいのかどうか、という議論におそらくなってしまうんじゃないかなっていう。その辺り、少しここに足を運ぶ人を増やすようなことを目指して何かやろうというようなことを考えられるのかどうかということをやちょっとお伺いしたいのですが。

事務局

確か委員からは、第1回会議のときに、なるべく多くの方に来ていただくために、例えば展示替えであったりとか、企画ものであったりとか、そういったことも考えてみたらいかがでしょうかといったお話を頂戴しているところであります。

当館も、所蔵しているものについて、過去、そういったことを盛んにしていたこともあるんですけども、コロナ以降、なかなか来館が難しくなっていた時期もありまして、展示替えにしてもなかなか大幅にガラッと変えるのが難しい状態ですので、何か考えたいと思っているところではありますけれども、具体的な企画等が出てこない部分もあります。

それと当館の部屋についても20人とかということで事業を組んだりしているんですけども、定員に満たないとか、近い時期になってもなかなか人が来てくれないとか、そういった周知が至らない点もございまして、あるいは情報が分かると、来てくれるかもしれませんし、人が来るようなことも研究して参りたいとも思っているところではございます。ちょっと力不足で申し訳ございませんが。ありがとうございます。

委員

やっぱり交通の利便性が悪いというところも大きな理由だと思うんですけど、先ほど生涯学習課長が、ニュータウンの方はすごい流入人口が増えていると。もともと印西にゆかりがない人たちも来られていると思うんですけど、あっちの方はかなりフラットな地形で開発がされていて、かつての景観が残ってないんですね。ここはかつての景観がそのまま残っていて、できれば、新しく入ってきた人やニュータウンの人たちなんかに積極的に自然とかを体験してもらって一環で歴史民俗みたいなものに触れていただく。そういう谷津歩きじゃないけど谷を歩くだとか、石造物巡りのツアーを開催してみるとか、直接この館内に送るというのではないけども、館の主催している事業を館の利用者数としてはカウントできると思うんですね。見学者数ではなくて、利用者数ということで高めていけばもっとニュータウン側と北部と南部でもかなり格差が今開いてる中で、南部だけのよさというのがあるわけで、もちろんここは過疎化が進んでいるといっても、やっぱりこの景観がよく残っているというのは大変いいことだと思いますね。だからそのあたりを少し積極的に館だけじゃなくて本庁の他の生涯学習部局なんかも含めて広報紙なんかで積極的にアピールしていけるような事業みたいなものを少し考えていただけると、もう少しこの歴史資料館の認知も高まると、印西市の中でもこの施設の役割というのがもうちょっと明確にできるのかなっていうふうに思うんですけどね。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。委員おっしゃる通りですね、ニュータウンに入居して来た人たちというのは、都市機能の利便性もそうなんですけど、やはり周りにその豊かな自然があったり、歴史があったりするところも魅力のひとつっていうことで、よくお聞きしますので、そういったサービスを提供する役割があるのはここだと思ってますので、ご指摘を踏まえて取り組んでいきたいと。先程からのお話ありがとうございます。

議長

はい。ありがとうございます。その他ご意見ご質問等ございませんか。

私の方からひとつよろしいですか。今委員の方からウォーキングとかそういったものをきっかけに利用者増につなげていけたらどうかということで、たまたまこれ私ごとになるんですけども、私歴史の会のメンバーをやっております、たまにやっぱり例えば松虫寺の周辺を歩くので

あったり、結縁寺周辺を歩くようなウォークを開催したりしてるんですけども、大体ニュータウンの方が半数を占めますね。それと逆にいわゆる旧の本埜印旛の方の方が少なく、逆に外の方が半数ぐらいというような形なので、資料館の認知度アップという面では、やっぱり主催事業としてウォークというようなものを採り入れていくのは、重複するような意見ですけども、そう大人数でなくてもいいと思うんですよ。20人ぐらい限定であれば、何とか1人2人ぐらいのガイド役で収まると思うので、まずは少人数から始めてみたいかが、なんていうふうに思っております。以上です。

事務局 ただ今例えばウォーキングとかそういうご意見をいただきましたけれども、今年度は生涯学習課の方で印西市内の文化財をまとめた「文化財マップ」というのを作成するんですよ。市内のこういうところに文化財があって、その内容はどのようなっていう、その紙ベースで3,000部作るんですけど、スマホでダウンロードして、それがマップ上で見られて、GPSで今印西市のどこにいるかというの分かるようなものを今度つくったので、そういったマップを参考に、例えばウォーキングコースを考えたりとか、そういったものも研究していきたいと思います。

議長 それともうひとつついでに言わせていただくと、非常にいい試みだと思うんですけども、一般の方が、例えば、任意で何とか寺へ行って文化財があるよっていわれても、例えば松虫寺であったり、結縁寺を例に出しますけれども、逆に文化財が見られないんですよ。例えば、七仏薬師であったり、銅造の不動明王であったりというのも、行けば見られるかという、そういうことがないように、例えば資料館の主催事業であれば、例えば事前をお願いして、じゃあ何月何日に拝んで、ちょっとだけ石仏であったり、石像であったり見せていただけるというようなことが可能になると思うんですね。だからそこがひとつ、いわゆるプレミアがつくんで参加者なども入ってきやすいんじゃないかと思うんですね。だからそういった面もひとつ考えていただければと思います。

事務局 はい。ありがとうございます。

議長 他に。

委員 すいません。今のお話に関連するんですけども、講座とか資料館講座とか参加者、市民対象ということになっておりますので、そういった方々の中でもやっぱりニュータウンの方が多いんですか。参考までに教えていただきたい。

議長 お願いいたします。

事務局 ニュータウンのみならず、旧本埜村ですとか、旧印旛、それから木下地区とか永治地区とか、かなりいろんなところから、少しずつ来てくれているという傾向があるように思います。偏りはあまりないというふうな印象を持っております。

議長 はい。ありがとうございます。他には。

委員 5番の調査研究事業の中で、(4)に民俗行事取材1件で平賀来福寺護摩行ってありますね。ここのお寺のお子さんが今学校に来てるんですね。で、時々1～2年生の生活科の学習とかでお邪魔するんですけど、毎年7月7日はもう七夕のときにやってるんでしょうか。

事務局 そうですね。

委員 そうなんですか。よくテレビで見る火を焚いている護摩行、あれですか。

事務局 そうです。

委員 はい。よく知らなかったです。

議長 ありがとうございます。そのほかはどうでしょう。ご意見を。ないようであれば、議案2の方に進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。

※意見はなし。議案は了承

議長 議案2の方に進んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局 ※資料に沿って説明

議長 ありがとうございます。議題2の令和7年度の事業計画について説明がありましたが、今の内容についてご意見、質問等があればお願いしたいんですけどもいかがでしょう。

質問が無いようですので私の方からひとつよろしいでしょうか。資料館講座の方は4回予定しているということで、講師あるいはテーマが未定のものがあるみたいですけども、ひとつリクエストというか、たまたま1月の下旬でしたか。利根川の舟運なんですね。これが国の登録有形文化財か何かに指定されたと思うんですけども、印西の場合に木下河岸があって、そこに当然引っかかっている部分があるんですけども、この資料館よりも交流の杜の方がよりシンパシーはあるのかなと思うんですけども、逆にそれに絡めて利根川の舟運とあと、逆に印旛沼こちらの地域ですと、印旛沼の舟運或いは印旛沼の渡しというような切り口で講座の中にひとつ盛り込んでいただければありがたいなと思うんですけども、いかがでしょうか。急にやれと言っても難しい面があるかと思うんですけども。

事務局 ご意見ありがとうございます。ちょっと検討させていただければと思います。

議長 はい。よろしくお願いします。他にはどうでしょうか。講座だけじゃなくてその他のものも含めて。

委員 はい。整理・保管事業の(3)番で、資料燻蒸の実施とありますけれども、これ薬使うんですか。結局、私のキットファイルも代替燻蒸、決まってないと思うんですけど。

事務局 今年度6年度については、関東港業さんと契約しておりまして、確か燻蒸ガスの方が多分西日本のほうで、もう入手が難しくなってしまったということを聞いておりましたので、その辺を確認しましたら、当面大丈夫だということを聞いております。ガスの性質で、消毒の有効性であるとか、危険度であるとか、そういったものをトータルで考慮して今の薬剤で決まっているようにしたので、そのガスを使っている業者がそこしかないという形で随意契約を進めているところなんですけれども、その業者の方に、今年度の契約時に聞きましたところ「当面大丈夫」というふうには聞いております。おそらく状況が変わらなければ、同じように実施していくものだと考えているところでございます。

委員 持ち込みというのはどうするの。ここから稲毛のあそこに持っていくの。それともここでやるの。

事務局 運搬も含めて、業者の方で配送していただいて、業者の確保している倉庫の中で2日ぐらい燻蒸して、1週間ぐらいしたらまた返してもらうと、そんな形でやっております。

委員 その辺大丈夫っていうことを関東港業が言ったの。

事務局 と、担当者レベルではそう言っておりました。

委員 はい。分かりました。

事務局 令和7年度の予算で見積もりを取るときにも特に実施が難しいというようなお話はなく、もう見積額もいただいておりますので、当面そういった形での実施は何とかなると考えております。

議長 よろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。他にはどうでしょう。

委員 以前もちょっと話題にさせていただいたかと思うんですけども、この講座等をですね、学校とか、こうやって移動するのがやっぱり難しいので、出前講座みたいなものをしていただけると、結構多くの学校でやりたいという手を挙げるところはあるんじゃないかなと思います。

もしそういうものがあれば、市の校長会議とかですね、周知して、呼びかけることも私の方からしたいと思いますので、どうか検討していただければと思います。

議長 事務局の方いかがですか。

事務局 はい。生涯学習の出前講座っていう事業があるんですけど、ここの資料館事業のひとつとして

の出前というものは、ひとつ検討させていただきます。ありがとうございました。

委員

何かこうひとつの実績になるんじゃないかなということ。

事務局

やはり館が小さいということもあって、小規模な学校は来ていただけたりするんですけども、そうじゃないところはなかなか触れ合いづらいという状況もございますので、ご意見参考にさせていただければと考えます。ありがとうございます。

委員

よろしくお願いします。

議長

ありがとうございます。他には質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

※意見はなし。議案は了承

質問もないようなので、令和7年度の事業計画については、了承されたものと確認します。これで本日の議題をすべて終わりましたので、皆様のご協力に感謝いたします。どうもありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

それではその他ですけれども、特に何か皆様方の方で何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、事務局から。

事務局

私の方から3点。はい。ご報告させていただきます。

まず体制のことなんですけども、令和7年度から生涯学習課が分課しまして、生涯学習課と文化振興課というのが新設になります。これまで生涯学習課では、生涯学習推進、青少年健全育成、芸術文化の振興、文化財の活用ということをやっていたんですが、令和7年度は、生涯学習課ではその生涯学習の推進の他に、放課後児童、学童業務が移管されてきます。放課後子ども教室というのを今やっているんですけども、放課後児童の支援という1つのパッケージにして、学童保育と放課後子ども教室を一体的に推進していくということになります。

文化振興課の方で、芸術文化の振興と文化財の保護活用というところで体制を強化して参りますので、先ほどご指摘いただきましたけども、いろいろな事業については、本課の文化振興課とこちらの資料館と連携して、効果があげられるように進めて参りたいと考えております。

それから2点目は施設関係ですけども、令和7年4月1日に千葉ニュータウン中央駅の南側の旧URの事務所があったところに新しい複合施設ができます。コスモスパレットという3階建てなんですけど、1階が300席ほどの芸術ホールとアートギャラリー、バンドスタジオ、ミニホールと出張所が入ります。2階には中央保健センターが入ります。3階には児童館が入るということで、健康福祉と児童福祉と文化振興の複合的な施設ができます。

最後にここの施設なんですけど、今歴史民俗資料館は、築40年以上で老朽化が進んでいて、空調機の調子が悪くて収蔵スペースもなかなかなくて展示スペースも少ないという中で、昨年度、新しい施設の検討はして基本計画まで作ったんですけども、場所と規模について引き続き検討していきます。今文化財資料を保存しているのは、ここと木下交流の杜と、あと印西の大森の資料整理作業所というところがあります。分散している施設を1つにまとめるような施設を検討するというので、公共施設の適正配置計画がありまして、印旛の医科器械資料館という民間に指定管理委託している施設があるんですが、それと合わせて4施設に関して、引き続き検討して参ります。以上でございます。

事務局

それでは皆様のご協力に感謝申し上げます。会長、議事進行をお務めいただき、どうもありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和6年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会を閉会とさせていただきます。皆様には長時間にわたりまして慎重審議を賜りまして、大変ありがとうございました。

いました。令和7年度も引き続きよろしくお願いいたします。

それではこれで散会とさせていただきます。気をつけてお帰りください。

令和6年度第2回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録は
事実と相違ないことを承認する。

令和7年4月1日

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会
委 員 矢 嶋 毅 之